

さがみロボット産業特区 [指定：平成25年2月、認定：平成25年6月]

### I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値  $(4.0 + 4.0) / 2 = 4.0$

4.0

#### i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	特区発ロボットの商品化状況	125%	5
2	実証実験等の実施件数	207%	5
3	ロボット関連事業所の集積割合	43%	2

評価指標毎の進捗の評価の平均値  $(5 \times 2 + 4 \times 0 + 3 \times 0 + 2 \times 1 + 1 \times 0) / 3 = 4.0$

4.0

・1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。  
 (例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

#### ■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

#### ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

4.0

### II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii) の平均値  $(3.0 + 3.8 + 4.3) / 3 = 3.7$

3.7

#### i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

3.0

#### ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

3.8

#### iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

4.3

### Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

4.3

- ・評価指標(1)「特区発ロボットの商品化の状況」、(2)「実証実験等の実施件数」共に、計画の進捗は順調で、おおいに評価できる。
- ・元県立高校施設を活用した実証実験フィールドやリゾート施設での実験体制構築など多面的な取組によって引き続き成果が期待できる。
- ・地域独自の取組が多くなされており、計画の推進に寄与しているものと思われる。
- ・評価指標(3)「ロボット関連事業所の集積割合」の数値目標を達成するには、本特区にどのような強みがあるかを考え、誘致環境の整備やアピール方法を具体的に考える必要がある。
- ・物流に関して、'さがみ'という土地柄を最大限活用すべき。海(横浜港)、空(羽田空港)の航路は絵を描いていた方がよい。
- ・生活支援・医療・介護関連のロボット開発の成果や商品化のノウハウ、商品を利用する住民や企業からのフィードバックなどの優位性を活かし、集積地としての特色とその強みを今後も維持・展開することが期待される。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

4.3

### 総合評価

I、II及びIIIを1:1:2の比率で計算  $(4.0+3.7+4.3 \times 2) \div 4 = 4.1$

4.1

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

- ・評価は5~1(評点)で行う。
- ・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。
- ・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。